

令和 3 年度決算に係る

定期 監 査

資 料

決 算 審 査

令和 4 年7月

教育委員会事務局 社会教育課

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
	(3) 決算審査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1
3	職員の定員、現員調べ	1
4	役付職員の調べ	1
5	主な事業に関する調べ	2
6	決算資料	6
7	事業別実施状況調べ	8
8	予備費の充用調べ	17
9	現金の取扱状況	17
	(1) 現金取扱状況	
	(2) つり銭の状況	
10	財産に関する調べ	17
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の保有状況	
	(3) 基金	
	(4) 債権	
11	財産の貸付け及び使用許可調べ	19
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品（1品の取得価格が100万円以上のもの及び寄附受納時の評価額が100万円以上のもの）	
12	借受不動産明細調べ	21
13	職員駐車場の管理状況調べ	21
	(1) 管理状況	
	(2) 減免の考え方	
	(3) 使用料の見直し	
14	寄附物件の受納状況調べ	21
15	備品の処分状況調べ	22
16	貸付金等状況調べ	22
	(1) 総括表	
	(2) 償還状況	
○	意見、要望等	22

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項

該当なし

(2) 監査意見

該当なし

(3) 決算審査意見

該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況

該当なし

3 職員の定員、現員調べ

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		合計		備考
	441 現在	3.41 現在	441 現在	3.41 現在	441 現在	3.41 現在	441 現在	3.41 現在	
定員	16	17					16	17	社会教育課(10)、船上山(3)、大山(3)
現員	(6) 23	(6) 24	()	()	()	()	(6) 23	(6) 24	派遣研修専門指導員受入(6) (船上山、大山各3、うち各1は4月～9月のみ配置) (R4の派遣元: 米子市1、倉吉市2、境港市1、鳥取市0.5、佐伯市0.5)
過不足(△)	7	7					7	7	派遣研修専門指導員受入(6)、社会教育課過員(1)
臨時的 任用職員	0	0					0	0	
会計年度 任用職員	2	1					2	1	一般事務(1) 広報専門員(1)

4 役付職員の調べ

(令和4年7月1日現在)

職名	氏名	在職期間		備考
課長	西尾 麻都子	1年	4月	
課長補佐	(併) 白岩 準市	2	4	環境立県推進課星空環境推進室課長補佐
課長補佐	尾崎 浩三		4	
課長補佐	(併)(兼) 檜垣 英司	2	4	子育て・人財局家庭支援課課長補佐 小中学校課課長補佐
船上山少年自然の家所長	中本 祐二		4	
大山青年の家所長	瀬尾 徹治	1	4	

5 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
インターネットとの適切な接し方教育啓発推進事業	3,354	0	0	0	3,354
将来ビジョン	-				
令和新時代創生戦略	2. 人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む(2)人材とっとり①未来を拓く人づくり SDGsゴール(04)質の高い教育をみんなに				
政策項目	-				
<p>1 事業の目的、概要</p> <p>インターネット環境の急速な発達により、スマートフォン・ゲーム機・携帯音楽プレーヤー等の電子メディア機器が子どもたちの生活の中に浸透し、利用の低年齢化も進んでいることから、保護者や子どもたちに対し、電子メディア機器とのよりよい接し方(*)について教育・啓発を行う。</p> <p>*よりよい接し方…トラブルや犯罪に巻き込まれたり、生活習慣が乱れたりすることのないよう、インターネットの特性を理解し、モラルやマナー等を考えて電子メディア機器を使用する。</p> <p>2 事業の内容、実施の状況</p> <p>(1) 鳥取県子どものインターネット利用教育啓発推進協議会事業</p> <p>【委託先：鳥取県子どものインターネット利用教育啓発推進協議会】</p> <p>①協議会の開催</p> <p>電子メディア機器との関わり方やインターネット・スマートフォン利用の教育啓発推進の方向性や施策について検討した。(9月)</p> <p>②「とっとり子どもサミット～インターネットとの理想的な付き合い方を考えよう～」の開催</p> <p>県内の小・中学生と保護者が、インターネットとの適切な付き合い方について話し合うワークショップを実施した。(新型コロナウイルスの影響により中部地区のみで開催。)</p> <p>・開催日：令和3年10月17日(日) ・会場：伯耆しあわせの郷</p> <p>・参加：13名(小学生3名、中学生6名、保護者4名)</p> <p>③「とっとり電子メディアとの付き合い方フォーラム」の開催</p> <p>令和3年度に鳥取県PTA協議会の協力を得て実施した「ICT活用に関するアンケート調査」結果や、とっとり子どもサミットの成果について紹介した。</p> <p>・開催日：令和3年11月27日(土) ・会場：ハワイアロハホール</p> <p>・参加：630名(オンライン配信視聴含む)</p> <p>④「電子メディアとの付き合い方学習ノート」の作成・配付</p> <p>子どもたちが主体的に電子メディア機器の使い方を振り返ったり、家庭で話し合っルールを決める際や学校での情報モラル教育の充実に資する学習ノート(シート)を作成し、県内小・中・高校生に配布した。</p> <p>・種類(作成部数)：小1～小3用、小4～小6用、中・高校生用の3種(合計67,700部)</p> <p>⑤SNSトラブルから子どもを守る合言葉「とりのからあげ」を活用した啓発</p> <p>町立図書館のイベントに出展し、「とりのからあげ」動画コンテスト入賞作品の上映や、SNSトラブル防止啓発キャラクターの缶バッジづくり体験による啓発を行った。</p> <p>・実施日：令和3年11月7日(日) ・場所：智頭町立図書館</p> <p>※南部町、若桜町でも予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大により中止となった。</p> <p>(2) 鳥取県インターネット問題予防対策事業</p> <p>情報モラル教育について専門的知識を有する者を県内の学校に派遣し、児童・生徒を対象とした授業と併せて教職員研修を行った。(新型コロナウイルスの感染拡大状況に応じ、オンラインでも実施)</p> <p>・派遣実績：31校(小学校16校、中学校6校、高等学校7校、特別支援学校2校)</p>					

(3) インターネットとの適切な接し方教育啓発講師派遣事業

【委託先：NPO法人こども未来ネットワーク】

①鳥取県ケータイ・インターネット教育推進員派遣

PTAや地域等で開催される学習会に、ケータイ・インターネット教育推進員を講師として派遣した。

・推進員：26人（令和3年度末）

・派遣実績：64件（保育園・幼稚園11件、小学校31件、中学校6件、高校3件、地域13件）

②乳幼児保護者向けチラシの作成・配布

電子メディア機器利用の低年齢化が進んでいることから、乳幼児期の電子メディア機器の適切な利用について啓発するチラシを作成・配布した。

・配布先：県内の幼稚園・保育所・認定こども園等 ・作成部数：約28,000部

3 事業成果（改善状況）・課題等

(1) 事業成果（改善状況）

- ・とっとり子どもサミットの開催や、電子メディアとの付き合い方学習ノートの活用等により、子どもが主体的に電子メディア機器の使用ルールを考えたり、作成したルールを大人（保護者）と共有し理解を深める契機とすることができた。
- ・コロナ禍においても、オンラインを活用した講師派遣や、感染防止対策を講じた啓発活動の実施により、情報モラル教育の重要性について意識を高めることができた。

(2) 課題

- ・教育現場でのICT活用やスマートフォン等の普及による電子メディア機器使用の低年齢化、コロナ禍の外出自粛に伴うインターネット利用時間の増加等が原因と考えられる視力の低下等、子どもの健康面の課題についても、情報モラル・リテラシーに加えて教育啓発に取り組む必要がある。

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
地域学校協働活動推進事業	32,717	16,299	0	0	16,418
将来ビジョン	6【育む】次代に向けて、躍動する「ひと」を育む (1) 地域や職場との連携などにより、安心して子育てできる環境が進展 (3) 子どもたちの地域への愛着と誇りが醸成				
令和新時代創生戦略	2. 人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む (2) 人材とっとり ②地域を支える人材の育成 SDGsゴール (04 質の高い教育をみんなに)				
政策項目	-				
<p>1 事業の目的、概要</p> <p>社会総がかりで子どもたちを育むために、公立学校に学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール（※）、以下「CS」という。）を導入し、学校・家庭・地域の連携・協働体制を確立する。また、学校を核として地域住民等の参画や地域の特色を生かした事業を展開することで、まち全体で地域の将来を担う子どもたちを育成するとともに、学校を核とした地域づくりを推進する。</p> <p>※学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール） …保護者や地域住民等が一定の権限と責任を持って学校運営に参加することにより、学校と地域が一体となって、子どもたちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を実現するための仕組み。</p> <p>2 事業の内容、実施の状況</p> <p>(1) 県実施事業</p> <p>①コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進に関する研修・資料配布（普及啓発）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度鳥取県「コミュニティ・スクール推進研修会」兼「地域学校協働活動研修会」の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・対象者及び開催日：市町村行政担当職員向け35名（令和3年11月22日（月）） ：地域学校協働活動関係者向け72名（令和3年12月20日（月）） ：教職員向け75名（令和4年1月21日（金）） ・開催方法：新型コロナウイルス拡大防止のため、Web会議システムを活用した講義動画の視聴と演習により実施 ・内容：講義 講師 東京学芸大学理事・副学長 講評 講師 公立鳥取環境大学准教授 ・啓発パンフレットの配布・伴走支援 <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進に係る啓発パンフレットを配布するとともに、市町村教育委員会事務局等を対象に、パンフレットを活用してコミュニティ・スクールと地域学校協働本部の導入と一体的推進の必要性等について説明等を行った。 ・配布先（配布部数）：県内全公立学校・公民館、市町村教育委員会事務局（2,000部） <p>②放課後子供教室等の地域学校協働活動に対する支援（人材育成）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童クラブ・放課後子供教室安全管理研修会 <p>放課後児童クラブを所管する子育て王国課と協力して、放課後児童クラブ及び放課後子供教室関係者を対象に、安全管理に関する知識や技能を高めるための研修会を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施方法：新型コロナウイルス拡大防止のため、動画配信により研修を実施 ・アンケート回答数：59人（配信の期間 令和3年7月12日（月）から25日（日）まで） ・内容：「新型コロナウイルス感染症の予防対策」 講師：鳥取看護大学教授 ・放課後児童クラブ・放課後子供教室指導者等研修会 <p>放課後児童クラブを所管する子育て王国課と協力して、放課後児童クラブ・放課後子供教室等の指導者等を対象に、専門的な知識と指導技術の習得のための研修を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施方法：新型コロナウイルス拡大防止のため、動画配信により研修を実施 ・アンケート回答数：76人（配信の期間 令和4年2月18日（金）から3月11日（金）まで） ・内容：「発達障がいの特徴、特性が気になる子どもへの支援のコツ、支援の実際等」 講師：『エール』発達障がい者支援センター 係長 					

・令和3年度鳥取県子どもの学びの環境等生活困難者対策連絡会議研修会

子どもの貧困対策の一つでもある地域未来塾等の学習支援の取組の効果と、貧困の連鎖を断ち切るために必要な力を育むための実践と成果について知り、関係者の資質向上及び今後の取組の充実を図った。

※地域未来塾：中学生等を対象に地域住民（退職教員や大学生等）の協力により実施する学習支援

・開催日：令和4年2月9日（水）

・開催方法：新型コロナウイルス拡大防止のため、Web会議システムにより研修を実施

・参加者：55人

・内容：テーマ「困難のある子どもの支援のために、地域における子どもの学びの環境づくりや福祉と教育の協働を考える」

・講師①：鳥根大学大学院教育学研究科特任教授

・講師②：境港市教育委員会スクールソーシャルワーカー

・講師③：県いじめ・不登校総合対策センター指導主事

・コーディネーター：一般社団法人こどものサポートシステム理事長

(2) 市町村への補助事業

国庫補助（学校を核とした地域力強化プラン事業）を活用した市町村への財政支援（市町村事業費の2/3（国1/3、県1/3））

・補助金活用市町村数：17市町村1学校組合（中核市は国が直接補助）

・補助対象事業：コミュニティ・スクールの導入、放課後子供教室の実施、地域未来塾の実施等

3 事業成果（改善状況）・課題等

(1) 成果及び効果

・コロナ禍でも研修会の実施方法を動画配信やオンライン形式等に替えるなど工夫したことで多くの人への情報提供や事例の共有を図ることができた。

・コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進に係るパンフレットを用いて事業説明を行うことにより、取組の一層の理解と推進を図ることができた。

【鳥取県教育振興基本計画（2019年度～2023年度）に掲げる関連指標の状況】

項目	目標値 (令和5年度)	令和3年度末	令和2年度末
学校支援ボランティア登録数	9,000人	6,540人	7,577人
地域学校協働本部を整備している公立学校の割合	全ての公立学校	56.8%	52.7%
コミュニティ・スクールを導入している公立学校の割合	全ての公立学校	67.5%	56.1%

(2) 課題

・既にコミュニティ・スクールを導入した市町村（学校）へ、学校運営協議会や社会教育の場で取り組まれている地域学校協働活動を活用し、学校と地域のビジョンの共有や連携・協働への理解を深め、取組の継続・充実のための支援を実施していくことが必要である。

・地域と学校の協働を促進するため、コミュニティ・スクールの未導入市町村へは、引き続き導入の必要性について市町村教育委員会や学校への理解促進を図り、導入を支援していくことが必要である。

6 決算資料

一般会計（歳入）

（単位：円）

区分	科目	予算額			現額			調定額 A	収入済額 B	不納欠 損額 C	収入未済額 A-B-C	備考
		当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越財源充当額	計	継続費及び 繰越事業費 繰越財源充当額	計					
歳入	教育使用料	489,000	0	0	489,000	0	307,280	307,280	0	0		
	行政財産使用料	114,000	0	0	114,000	0	108,920	108,920	0	0		
	教育費国庫補助金	26,959,000	△3,114,000	0	23,845,000	0	18,661,000	18,661,000	0	0		
	雑入	0	0	0	0	0	215,203	215,203	0	0		
	繰越金	(0)	(0)	(712,040)	(712,040)	(712,040)	(712,040)	(712,040)	(0)	(0)		
	教育債	(0)	(0)	(9,000,000)	(9,000,000)	(9,000,000)	(9,000,000)	(9,000,000)	(0)	(0)		
		139,000,000	11,000,000	9,000,000	159,000,000	9,000,000	79,000,000	79,000,000	0	0		
		(0)	(0)	(9,712,040)	(9,712,040)	(9,712,040)	(9,712,040)	(9,712,040)	(0)	(0)		
	合計	166,562,000	7,886,000	9,712,040	184,160,040	9,712,040	99,004,443	99,004,443	0	0		

一般会計（歳出）

（単位：円）

区分	科目	予 算			現 額			支出済額の内訳		翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	備 考
		当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越 事業費繰越額	予備費 支出及び 流用増減	計 A	支出済額 (決算額) B	本 庁	出納機関			
歳 出	教育 連絡 調整 費	55,898,000	△6,834,000	0	0	49,064,000	37,720,084	37,669,266	50,818	0	11,343,916	
	社会 教育 総務 費	21,782,000	△3,077,000	0	0	18,705,000	11,706,863	11,182,051	524,812	0	6,998,137	
	青少 年社 会教 育施 設費	194,585,000	△12,798,000	0	△385,000	181,402,000	168,330,507	83,912,107	84,418,400	0	13,071,493	
	生涯 学習 セン ター 費	(0)	(0)	(9,712,040)	(0)	(9,712,040)	(9,712,040)	(2,094,640)	(7,617,400)	(0)	(0)	
		149,714,000	15,889,000	9,712,040	385,000	175,700,040	143,781,640	98,213,640	45,568,000	29,900,000	2,018,400	
	合計	(0)	△6,820,000	(9,712,040)	0	424,871,040	361,539,094	230,977,064	130,562,030	29,900,000	33,431,946	

7 事業別実施状況調べ

(単位：円)

事業名	予		現		支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行 率 B/A	事業計画と実績・成果、 繰越、不用額の理由等		
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減						計 A	
(目名) 教育連絡調整費											
(主) 地域 学校協働活 動推進事業	47,000,000	△5,059,000	0	0	41,941,000	0	32,717,275	0	9,223,725	78.0	主な事業に関する調べのと おり
とっとりふ れあい家庭 教育応援事 業	8,898,000	△1,775,000	0	0	7,123,000	0	5,002,809	0	2,120,191	70.2	家庭の教育力の向上を図るため、身近な地域において家庭教育を支援する「家庭教育支援チーム」の設置促進、市町村担当者や家庭教育支援員等への学習機会の提供、相談体制の充実等きめ細かな支援を行うことにより、地域全体で家庭教育を支えていく人材育成・基盤形成を推進した。また、県幼児教育センターと共同で作成した乳幼児の保護者向け啓発パンフレットを、関係機関へ配布した。 ＜家庭教育を支援する人材の育成＞
	研修会		期日		講師		受講人数				
第1回 市町村の家庭教育支援充実に向けて			令和3年7月2日		文部科学省総合教育政策局 地域学習推進課 家庭教育支援室 室長補佐、係長		53名				
第2回 チーム員・支援者としてのスキルアップ			令和3年9月1日		県幼児教育センター 係長 県社会教育課 社会教育主事		58名				
第3回 ヤングケアラーの支援について			令和3年10月8日～ 令和3年10月29日		N.K.C ナーシングコアコーポレーション 合同会社 代表		74名				
第4回 子育て・家庭教育支援の充実に向けて			令和3年11月29日		滋賀県教育委員会生涯学習課 主査、主任主事 南部町教育委員会人権・社会教育課 家庭教育推進員		61名				
<p>＜家庭教育に関する学習機会の提供＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「とっとり子育て親子プログラム」：ファシリテーター8名を6ヶ所へ派遣 ・家庭教育支援アドバイザー派遣：アドバイザー2名を3ヶ所へ派遣 ・啓発パンフレットの配布：作成枚数 17,000部、配布先：市町村保健センター、幼児教育・保育施設、市町村保育担当課、市町村教育委員会 <p>＜その他＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥取県家庭教育推進協力企業：884社（令和4年3月現在） <p>※鳥取県家庭教育推進協力企業：保護者である従業員が子育てしやすく、また、子どもたちを健やかに育てる地域活動に参加しやすい職場環境づくりに 自主的に取り組む企業として、鳥取県教育委員会と協定を結んだ企業</p>											

事業名	予算額			現額			支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行 率 B/A	事業計画と実績・成果、 繰越、不用額の理由等
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減	計 A						
目計	55,898,000	△6,834,000	0	0	49,064,000	37,720,084	0	11,343,916	76.9		

(目名) 社会教育総務費

社会教育企画費	6,502,000	0	0	0	6,502,000	3,799,340	0	2,702,660	58.4	
---------	-----------	---	---	---	-----------	-----------	---	-----------	------	--

(1) 教育審議会生涯学習分科会兼社会教育委員会議の開催

期日	会場	会議の内容
令和3年11月19日	倉吉市立上北条小学校学校運営協議会視察 小学校及び上北条コミュニティセンター	・倉吉市立上北条小学校学校運営協議会視察 ・令和4年度社会教育関係団体への補助金について ・コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進について
令和4年3月29日	オンライン開催	・コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の推進に関する建議(案)について

(2) 各種研修派遣

第43回中国・四国地区社会教育研究大会愛媛大会及び第63回全国社会教育研究大会石川大会へ生涯学習分科会委員を派遣した。(新型コロナウイルスの影響によりオンライン開催)

(不用額が予算額の3割以上となった理由)

この事業は課の連絡調整・会議開催に係る事務費や研修実施に係る経費(旅費、使用料、報酬等)であるが、新型コロナウイルスの影響によりオンラインでの実施が増え、当初の予定どおり事業が行えなかったため。

事業名	予算額			現額			支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行 率 B/A	事業計画と実績・成果、 繰越、不用額の理由等
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減	計 A						
(主) インターネットと の適切な接 し方教育啓 発推進事業	4,725,000	0	0	0	4,725,000	3,353,571	0	1,371,429	71.0		
主な事業に関する調べのとおり											
県市町村社 会教育振興 事業	2,963,000	△945,000	0	0	2,018,000	1,167,525	0	850,475	57.9		
地域の教育力を高め、県全体の社会教育の推進を図るため、市町村、公民館等の社会教育関係者等を対象とした各種研修会を実施した。 (1) 県・市町村対象の生涯学習・社会教育担当者研修の実施 (2) 社会教育協議会主催の研修会に対する助成 (3) 社会教育主事養成講座の実施											
			期日	会場	内容					受講人数	
			令和4年1月24日(月)～2月10日(木) 2月15日(火)、 3月4日(金)～3月10日(木) (期間中20日間実施)	琴浦町生涯学習 センター	生涯学習概論他(オンラインと集合型演習を組み合 わせて実施)					34名	
(4) 鳥取県地域コーディネーター養成講座											
			期日	内容						受講人数	
			令和3年6月30日(水)	社会教育の理解						62名	
			令和3年7月9日(金)	学校と地域の連携・協働						65名	
			令和3年9月14日(火)	コーディネートの実際①						42名	
			令和3年10月14日(木)	コーディネートの実際②						54名	
(不用額が予算残額の3割以上となった理由) 新型コロナウイルスの影響により、講師を招聘予定であった研修等の中止・延期またはオンライン開催が増えるなど、当初の予定どおり事業が実施できなかったことによる。											

事業名	予算額			現額			支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行 率 B/A	事業計画と実績・成果、 繰越、不用額の理由等
	当初予算額	補正予算額	繰越額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減	計 A					
社会教育関係団体等による地域づくり支援事業	4,591,000	△2,132,000	0	0	0	2,459,000	1,968,514	0	490,486	80.1	
青少年の健全育成、家庭・地域の教育力の向上及び本県の生涯学習の推進を図ることを目的に、社会教育関係団体が行う人材育成、指導者養成及び調査研究活動を助成した。 交付先：鳥取県PTA協議会、鳥取県高等学校PTA連合会、鳥取県連合青年団、ガールスカウト鳥取県連盟、日本ボイスがわい鳥取県連盟、鳥取県子ども会育成連絡協議会、鳥取県連合婦人会											
とっとり県民カレッジ事業	100,000	0	0	0	0	100,000	55,952	0	44,048	56.0	

市町村と連携し地域課題の解決につなげられるテーマの講座を開催するとともに、県内大学と連携しながら、県民の多様なニーズに応える学習機会を提供した。

(1) とっとり県民カレッジ講座 (市町村連携)

① 通常講座

期日	会場	開催テーマ	連携先市町村等	受講者数	備考
令和3年7月17日	上灘コミュニティセンター	つながる最前線！～地域と若者がまちを 変える～	倉吉市教育委員会	53人	動画視聴回数252回
令和3年9月4日	-	なぜばなる、自分ごとのまちづくり	琴浦町教育委員会	62人	動画視聴回数165回
令和3年10月2日	キナルなんぶ	地域を育む「コミュニティデザイン」	西部地区社会教育 担当者研究協議会	62人	動画視聴回数301回

② 特別講座 (県内大学と連携実施) 6 回実施

大学名	受講者数
鳥取看護大学・鳥取短期大学 (5回)	273人
公立鳥取環境大学	24人
計	297人

(2) 連携講座 94機関 1,845講座

(不用額が予算残額の3割以上となった理由)

新型コロナウイルスの影響で中止した講座があったこと等により、受講時間数に応じて認定される要領制度への届け出が少なかったため。

事業名	予算			現額			支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行 率 B/A	事業計画と実績・成果、 繰越、不用額の理由等
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減	計 A						
本の大好きな子どもを育てるプロジェクト	1,317,000	0	0	0	1,317,000	551,681	0	765,319	41.9		

子どもたちがより効果的に図書との関わりを持つための取組として、子ども読書アドバイザーの派遣や児童・生徒の読書推進の啓発など、子どもの読書活動を推進するための事業を展開した。

・(1) 子ども読書アドバイザーの派遣等

子ども読書に関する知識や豊富な経験を持つ「子ども読書アドバイザー」を保護者会や読み聞かせボランティアの研修会に講師として派遣した。また、読書アドバイザーの技能向上を図るため研修会を開催した。

- ① 読書アドバイザーの派遣
 - ・派遣件数：11件（読み聞かせボランティア、保護者、子育て支援者等への研修6件 主に生徒への研修5件）
 - ・アドバイザー：37人（令和3年度末）
- ② 研修会の開催（共催：鳥取県立図書館）

期日	会場	研修のテーマ	受講者数
令和3年11月25日	鳥取県立図書館、キナルなんぶ	子どもと本をつなぐブックトーク	126人（うちアドバイザー16人）

(2) 乳幼児期の子どもと保護者を対象にした啓発活動

新型コロナウイルスの影響により、予定していた乳幼児期の読書習慣定着に向けた大型集客施設での啓発イベントに代えて次のような取組を感染対策を講じて実施した。（共催：鳥取県「体験の風をおこそう」実行委員会）

① 絵本等を題材にした園児の絵の展覧会の開催

期日	会場	内容
令和4年1月6日～30日	鳥取県立図書館	園児の絵（165点）の展示、保護者アンケート「子どもの好きな絵本」の結果等の展示

② 町立図書館が開催するイベントへの出展

期日	会場	参加者数	内容
令和3年11月7日	智頭町立図書館	106名	県の読書啓発キャラクターの缶バッヂづくり体験

③ 子どもと一緒に作ることができる豆本の用紙等を作成し、ホームページへ掲載

(3) 中学生・高校生ポップコンテスト
読書戦いが顕著になる中学生・高校生に本を読み機会、読書の意義を他者に伝える体験を提供するため、コンテストを実施した。(共催：鳥取県書店商業組合、鳥取県図書館協会)

・募集期間：令和3年8月2日～9月30日

・応募作品総数：1,278点

・優秀賞：40点(うち、5点は鳥取県書店商業組合が選定する特別賞を受賞)

優秀賞受賞作品は書店で展示したほか、店頭や公立図書館で本の紹介に活用した。

(不用額が予算残額の3割以上となった理由)

新型コロナウイルスの影響により、子ども読書アドバイザーの派遣が少なかったため。

事業名	予算		現額		支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行 率 B/A	事業計画と実績・成果、 繰越、不用額の理由等
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減					
中学校ト クプログラ ム実施事業	1,132,000	0	0	0	1,132,000	728,190	403,810	64.3	

中学生と地域の大人・大学生が少人数のグループで、働き方や生き方等のテーマに沿って自由に話す「中学校トークプログラム」を実施し、中学生の自己肯定感、ふるさとに対する貢献意識の向上を図った。

<実施状況>

実施日	実施校	参加人数
7月5日	伯耆町立岸本中学校	122名(中学生66名、地域の大人36名、大学生20名)
11月13日	鳥取市立高草中学校	106名(中学生67名、地域の大人20名、大学生19名)
11月20日	日野町立日野中学校	94名(中学生44名、地域の大人24名、大学生26名)
11月28日	鳥取市立千代南中学校	49名(中学生25名、地域の大人12名、大学生12名)
12月17日	米子市立湊山中学校	186名(中学生101名、地域の大人56名、大学生29名)

(不用額が予算残額の3割以上となった理由)

新型コロナウイルスの影響により、本プログラムの実施を中止した学校があったため。(2校)

事業名	予算			算現額		支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行 率 B/A	事業計画と実績・成果、 繰越、不用額の理由等						
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減	計 A											
児童養護施設等と連携した自然体験活動推進事業	452,000	0	0	0	452,000	82,090	0	369,910	18.2							
<p>家庭環境等の違いのために生じる「体験格差」の是正のため、児童養護施設等を対象とした自然体験活動を行った。</p> <p>(1) 自然体験活動の実施 参加施設：2施設 ※新型コロナウイルスの影響により左記以外の1施設が中止 参加人数：合計46人(子ども31人、職員15人) 実施場所：船上山少年自然の家、大山青年の家、空山ポニー牧場、水ノ山自然ふれあい館響の森 実施内容：県立施設等の指導員の指導・助言により、日帰りあるいは出前活動で自然体験活動を行った。(主な活動内容) ポニー教室、自然観察、クラフト、野外炊事等</p> <p>(2) 報告会の実施 ※新型コロナウイルスの影響により書面開催</p>																
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>内容</th> <th>対象施設数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和4年2月10日</td> <td>事業報告及び当該事業に関するアンケートの実施</td> <td>10施設</td> </tr> </tbody> </table>											開催日	内容	対象施設数	令和4年2月10日	事業報告及び当該事業に関するアンケートの実施	10施設
開催日	内容	対象施設数														
令和4年2月10日	事業報告及び当該事業に関するアンケートの実施	10施設														
<p>(不用額が予算残額の3割以上となった理由) 新型コロナウイルスの影響により予定していた事業が中止となったため。</p>																
目計	21,782,000	△3,077,000	0	0	18,705,000	11,706,863	0	6,998,137	62.6							
(目名) 青少年社会教育施設費																
船上山少年自然の家運営費	90,811,000	△4,602,000	0	△200,000	86,009,000	76,887,916	0	9,121,084	89.4							
<p>船上山少年自然の家の運営及び施設の維持管理を行った。</p> <p>・指定管理者(431~45)TKSS・富士総合警備隊共同企業体・管理委託費 41,197,944円</p> <p>(1) 年間受入者数 日帰り4,960人 宿泊3,021人 計7,981人</p> <p>(2) その他施設修繕等</p> <p>(3) 主催事業の実施 新型コロナウイルスの影響により、当初予定していた28事業のうち12事業が中止となったが、家族等少人数を対象とした代替事業等を実施した。 主催事業の実施状況：ちっちゃい体験隊、船上山カレッジジュニアカー等17事業 参加者数：539人(左記は(1)の内数)</p> <p>(流用200,000円は、大山青年の家運営費へ流用)</p>																

事業名	予算				現額			支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行 率 B/A	事業計画と実績・成果、 繰越、不用額の理由等
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減	計 A							
大山青年の家 家運営費	102,654,000	△7,278,000	0	△185,000	95,191,000	91,318,301	0	3,872,699	95.9			
<p>大山青年の家の運営及び施設の維持管理を行った。</p> <p>・指定管理者 (H31～R5) 鳥取県教育文化財団 ・管理委託費 41,310,973円</p> <p>(1) 年間受入者数 日帰り11,873人 宿泊4,779人 計16,652人</p> <p>(2) その他施設修繕等</p> <p>(3) 主催事業等の実施</p> <p>新型コロナウイルスの影響により、当初予定していた25事業のうち6事業が中止となったが、家族等少人数を対象とした代替事業等を実施した。</p> <p>主催事業の実施状況：ファミリーエンジョイカヌー、自然はぼくらの遊び場だ等19事業 参加者数：2,036人(左記は(1)の内数)</p> <p>(流用185,000円のうち、200,000円は船上山少年自然の家運営費より流用、385,000円を生涯学習センター運営費へ流用)</p>												
鳥取県の美しい星空環境を活かした体験活動等推進事業	1,120,000	△918,000	0	0	202,000	124,290	0	77,710	61.5			
<p>鳥取県星空保全条例の趣旨を踏まえ、星空観察会を実施し、星空環境を活用した教育の機会を提供した。船上山少年自然の家、大山青年の家の各指定管理者に委託。</p> <p>なお、新型コロナウイルスの影響により、例年実施している移動式プラネタリウムを使用しての活動は中止した。</p> <p>(1) 学校行事及び県立青少年社会教育施設における星空観察事業 主催事業：2事業(船上山少年自然の家 1事業・33人、大山青年の家 1事業・31人) 受入団体：1団体(船上山少年自然の家 4団体・190人、大山青年の家 2団体・54人)</p> <p>(2) 移動式プラネタリウム実施事業 令和3年度は新型コロナウイルスの影響により中止</p> <p>(不用額が予算残額の3割以上となった理由) 新型コロナウイルスの影響により、予定していた主催事業が中止となったため。</p>												
目計	194,585,000	△12,798,000	0	△385,000	181,402,000	168,330,507	0	13,071,493	92.8			

事業名	予算額			現額			計 A	支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行 率 B/A	事業計画と実績・成果、 繰越、不用額の理由等
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減	繰越額	繰越額						
(目名) 生涯学習センター												
生涯学習センター運営費	(0)	(0)	(9,712,040)	(0)	(0)	(9,712,040)	(9,712,040)	(9,712,040)	(0)	(0)	(100.0)	
	149,714,040	△14,011,000	0	385,000		145,800,040	143,781,640	143,781,640	(0)	2,018,400	98.6	
生涯学習センターの管理運営を指定管理者により行った。 ・指定管理者 (H31～R5) (公財) 鳥取県教育文化財団 ・管理委託費 91,413,000円 (1) 入館者数 44,754人 (2) 施設修繕等 特定天井工事耐震対策工事、屋上防水工事の実施 空調設備更新工事設計の実施 (3) 主催事業 前記とつとり県民カレッジ事業に記載のとおり (流用385,000円は、大山青年の家運営費から流用)												
生涯学習センター空調設備更新事業	0	29,900,000	0	0	0	29,900,000	0	29,900,000	0	0	0	
生涯学習センターの空調機4台の更新工事を行った。(工事期間：令和3年12月～令和4年1月) (繰越となった理由) 施工業者への前金払いが不要となったことにより全額をR4年度へ繰り越したため。												
目計	(0)	(0)	(9,712,040)	(0)	(0)	(9,712,040)	(9,712,040)	(9,712,040)	(0)	(0)	(100.0)	
	149,714,000	15,889,000	9,712,040	385,000		175,700,040	143,781,640	29,900,000	2,018,400	81.8		
合計	(0)	(0)	(9,712,040)	(0)	(0)	(9,712,040)	(9,712,040)	(0)	(0)	(100.0)		
	421,979,000	△6,820,000	9,712,040	0	0	424,871,040	361,539,094	29,900,000	33,431,946	85.1		

8 予備費の充用調べ
該当なし

9 現金の取扱状況
該当なし

10 財産に関する調べ
(1)公有財産
ア 土地

(令和4年3月31日現在)

行政・普通財産 の区分	施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況			本年度末		備考												
			面積(m ²)	価額(円)	増減別	異動日	面積(m ²)	価額(円)	増減理由		登記年月日	面積(m ²)	価額(円)									
行政財産	(内訳)				増加	R																
					減少	R																
計			99,830.41	45,739,686																		
普通財産	(内訳)				増加	R																
					減少	R																
計			0.00	0																		
合計			99,830.41	45,739,686																		

イ 建物

(令和4年3月31日現在)

行政・普通財産 の区分	施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況			本年度末		備考													
			面積(m ²)	価額(円)	増減別	異動日	面積(m ²)	価額(円)	増減理由		登記年月日	面積(m ²)	価額(円)										
行政財産	(内訳)				増加	R																	
					減少	R																	
計			12,601.30	1,945,078,261																			
普通財産	(内訳)				増加	R																	
					減少	R																	
計			0.00	0																			
合計			12,601.30	1,945,078,261																			

ウ 山林
該当なし

エ 不動産売却等
該当なし

オ 財産の交換
該当なし

カ 動産(船舶、浮標、浮桟橋、浮ドック、航空機)
該当なし

キ 物権
該当なし

ク 無体財産権(特許権、著作権、商標権、実用新案件等)

(ア) 異動状況
該当なし

(イ) 出願及び登録の状況
該当なし

(ウ) 活用の状況
該当なし

ケ 有価証券
該当なし

コ 出資による権利
該当なし

(2) 金券類の保有状況
ア 金券の保有状況
有 無

イ タクシーチケットの保有状況

(令和4年3月31日現在)

前年度未使用枚数	本年度 中		本年度未使用枚数
	購入枚数	使用枚数及び金額	
90枚	0枚	0枚	90枚

(3) 基金
該当なし

(4) 債権
決算資料提出データベースに提出済

1 1 財産の貸付及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

了 土 地

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先		備考
							単価	本年度の貸付(使用)料	住氏	所名	
行政財産	電力供給配電線支持物設置	西伯郡大山町赤松明間原312-1(県立大山青年の家)	支線柱1本、支線1条	R3.8.25	R3.8.25	R3.10.1 ~ R8.3.31	無償	0	米子市加茂町二丁目51番地 中国電力ネットワーク株式会社 米子ネットワークセンター		
	電力供給配電線支持物設置	西伯郡大山町赤松明間原312-1(県立大山青年の家)	電柱8本、支線3本	R4.2.25	H29.3.22	R4.4.1 ~ R9.3.31	9,680	9,680	米子市加茂町二丁目51番地 中国電力ネットワーク株式会社 米子ネットワークセンター		
	有線テレビジョン放送施設設置	鳥取市扇町21番地(県立生涯学習センター)	共架線	R4.2.25	H25.3.1	R4.4.1 ~ R9.3.31	1,500	1,500	鳥取市富安2丁目137番地 日本海ケーブルネットワーク株式会社		
	電気通信設備設置	鳥取市扇町21番地(県立生涯学習センター)	共架線	R4.3.16	H25.3.1	R4.4.1 ~ R9.3.31	1,500	1,500	鳥取県鳥取市湯所2-258 西日本電信電話株式会社		
計								12,680			
普通財産											
計											
合計								12,680			

イ 建物
該当なし

(2) 物品1品の取得価格が100万円以上のもの及び寄附受納時の評価額が100万円以上のもの

品名	数量	規格・銘柄	貸付期間	貸付料(円)		住所 氏名	使用場所	貸付目的	備考
				単価	本年度の 貸付料				
織機	1	フック刺しゅう巾14.8m× 高さ5.5m	H31.4.1 ~ R6.3.31	無償	無償	鳥取市原町21番地 (公財)鳥取県教育文化財回理事 生涯学習センター 長	施設の管理運営に供 するため		
グラントピアノ	1	ヤマハCF	H31.4.1 ~ R6.3.31	"	"	"	"	"	
デジタル印刷機	1	リソグラフ RZ670	H31.4.1 ~ R6.3.31	"	"	"	"	"	
キセノンペンポットライト	2	松村電機製作所 SUPERSOL-1003SR/e	H31.4.1 ~ R6.3.31	"	"	"	"	"	
ホール用デジタルミキ サー	1	ヤマハCL-3 ヤマハRio 3224-D	H31.4.1 ~ R6.3.31	"	"	"	"	"	
ホール用音響システム	1	BOSE ESP-002	H31.4.1 ~ R6.3.31	"	"	"	"	"	
ホール用音響機器	1	BOSE H RM5520, RM7060, L T9403 DS16SB, 802-35G, 6 20M, JBL, LSR306	H31.4.1 ~ R6.3.31	"	"	"	"	"	
ホール吊幕(結幕)	1	(株)ナカヤマ 寛八線別 珍・防災品	H31.4.1 ~ R6.3.31	"	"	"	"	"	
ポーターライト	1	150W/ハロゲン×63灯 上下・中区分=12.6m	H31.4.1 ~ R6.3.31	"	"	"	"	"	
除雪機	1	フジイSD1123DK2	H31.4.1 ~ R6.3.31	"	"	"	大山青年の家	"	
絵画	1	油絵60号額縁付き「漂流」	H31.4.1 ~ R6.3.31	"	"	"	"	"	
公用車	1	ゼレナ AT 4WD	H31.4.1 ~ R6.3.31	"	"	"	"	"	
食器洗浄機	1	(株)マルゼン 本体1台 MDDGB8 ER、専用作業用クーラーユニット2 台及びステンレスフード1台は社員 のどろり	R3.4.1 ~ R6.3.31	"	"	"	"	"	
絵画	1	初雪の犬山 100号	R4.3.30 ~ R6.3.31	"	"	"	"	"	
エルネット受信システム	1	TA-OSH575S, TD- MD100G/D-5100-06	H31.4.1 ~ R6.3.31	"	"	米子市水原8-11-49 TKSS 富士総合警備保障共同企業体 (株)TKSS代表取締役	船上山少年自 然の家	"	
公用車	1	パジェロ 三菱LA- V13WLRUVQ	H31.4.1 ~ R6.3.31	"	"	"	"	"	
食器洗浄機	1	PA-13A2	R3.4.1 ~ R6.3.31	"	"	"	"	"	
絵画	1	日本画(船上山北壁)F30 号	H31.4.1 ~ R6.3.31	"	"	"	"	"	
絵画	1	雷間の日ざし 100号	R4.3.30 ~ R6.3.31	"	"	"	"	"	
合計					-				

12 借受不動産明細調べ

区分	種別	借受(使用)目的	所在地	数量又は面積	契約の状況			借受先 住氏名	備考
					契約書の有無	借受期間	借料(円) 単価		
土地	山林	施設運営のため	東伯郡琴浦町山川1807-2	26.647	有	S51.5.18～存続中	月額年額 無償	東伯郡琴浦町山川1807-2 以西財産区管理者 琴浦町長	本課で 契約締結
土地	畑	施設運営のため	東伯郡琴浦町山川1807-11	299	有	S51.5.18～存続中	月額年額 無償	東伯郡琴浦町山川1807-2 以西財産区管理者 琴浦町長	〃
土地	原野	施設運営のため	東伯郡琴浦町山川1807-4	214	有	H2.4.27～存続中	月額年額 無償	東伯郡琴浦町山川1807-2 以西財産区管理者 琴浦町長	〃
土地	畑	施設運営のため	東伯郡琴浦町山川1807-12～14	751	有	H2.4.27～存続中	月額年額 無償	東伯郡琴浦町赤碕1142-3 琴浦町 琴浦町長	〃
合計							0		

13 職員駐車場の管理状況調べ

財産の区分	所在地	1区画の面積		貸付(使用)料(月額) (円)
		(㎡)	(円)	
行政財産	鳥取県西伯郡大山町赤松明原312番地1	12.5	1000	
普通財産				

(2) 減免の考え方
公有財産事務取扱要領第11の4の4(通勤手段として勤務先官公署への交通機関が確保できない場合に該当するときに減免。
(深夜・早朝の業務に従事する職員は公共交通機関の利用ができないため。))

(3) 使用料の見直し
該当なし

14 寄附物件の受納状況調べ

該当なし

15 備品の処分状況調べ

品名 (規格・銘柄)	(保管換年月日) 取得年月日	不 用 決 定 年 月 日	処 分				備考	
			売却 の別	売却方法・棄却理 由	処分 年月日	売却額		処分費用
AED(自動体外式除細動器) フィリップスHS1	平成26年6月6日	令和3年6月23日	棄却	使用期限切れ	令和3年6月18日	円	円 0	更新時に引 取を依頼
エアコン ナショナルCS-A2	平成8年8月2日	令和3年11月16日	棄却	耐用年数超過に より更新したため	令和3年11月17日	円	円 0	エアコン改 修工事と合 わせて処分
エアコン ナショナルCS-SG28 T12置	平成8年8月30日	令和3年11月16日	棄却	耐用年数超過に より更新したため	令和3年11月17日	円	円 0	エアコン改 修工事と合 わせて処分

16 貸付金等状況調べ

該当なし

- 意見、要望等
(1)業務に関する要望等
特になし

- (2)監査委員事務局に対する意見・要望等
特になし